

今回から「まちづくりレポート」との隔月で「いるまの企業フチ自慢」をスタートします。入間市内にある企業の、市内内外に誇れる「ちよっとした自慢」を紹介していきます。初回は、設立時に市も開局に協力した株F M茶笛。次回以降は、市工業会・市商工会工業部会企業の中から取り上げて行く予定です。



第1回 (株)エフエム茶笛

周波数 77.7MHz

<http://www.fmchappy.jp/>

☎2963・6663

FAX 2963・0867

設立 平成8年3月

F M茶笛のキャラクター「チャッピーくん」→



時緊急用送信機」を貸し出しました。

この送信機は平成18年に予備送信機として整備したもので、車両への搭載や緊急災害時の高出力放送が可能。建物の屋上等に設置すれば臨時送信所としても機能します。F M茶笛が万一に備えて整備していたこの送信機が、結果として臨時災害放送局「つくばさいがいエフエム」の放送開始を助け、被災地への情報発信を支援することになりました。

「先駆者」として



「クロスメディアする」F Mチャッピー
F M茶笛は、コミュニティ放送を主軸としたクロスメディア・ツールです。ラジオ放送はもちろん、スマートフォン等で楽しめるインターネット放送やSNSを活用してリスナーと繋がっています。

加えて、放送と連動したフリーペーパー「月刊茶笛」の発行や、入間ケーブルテレビとの共同制作番組の放送も。1つの市内でこれほど多面的・相乗的に展開するメディアを、入間市の外で見つけることは、難しいでしょう。

緊急用送信機で被災地を支援



…東日本大震災により、茨城県の「ラチオつくば」の送信機が故障しました。その際、F M茶笛では、所有する「災害

その東日本大震災から3年近くが経過した昨年从今年にかけて、全国的にF M放送局相互、あるいは放送局と大型店舗との連携が進みました。災害時に必要な「安全・生活物資・情報」を兼ね備えた防災拠点を構築する際、F Mラジオの媒体力が、改めて重要視されています。

F M茶笛は、阪神大震災を契機に、平成9年、県内で最初に開局したコミュニティ放送局です。後に鴻巣市、さいたま市、朝霞市に開局しましたが、コミュニティ放送局は、現在も県内わずか4つの自治体にしかありません。さらに、平成24年7月にはイオン入間店内にサテライトスタジオを開設し、毎日の放送をスタートさせています。F M茶笛は、全国的に見ても「先駆者」なのです。

